

[目次]

編集後記

1999 年度年報編集委員長

岸 本 哲 也

本号は、昨年の創刊号に続く第2号になります。一般に普及している印刷物の年報の場合には、各号が別冊になっていますが、本年報は CD-ROM 形式ですので、各年度ごとに別版を作るのではなく、バックナンバーを全て最新版に収録することができます。過去の年度の年報に収録されている論文を見るためには、最新版の CD-ROM があれば済みます。これは読者にとって大きな便宜です。CD-ROM 形式とするために、大変な御苦勞をいただきました山口定委員長をはじめ、機関誌準備委員会の皆様のおかげです。

本号は、すでに創刊号で辻中豊委員長はじめ創刊号編集委員会が敷かれた路線をほぼ踏襲して作成しました。1998 年度の学術大会で、当学会企画委員会からお願いしました報告者、シンポジウム参加者、司会者、討論者からのご寄稿になる企画論文とならんで、自由投稿論文を募集しました。その結果、企画論文 14 編、自由投稿論文 7 編をいただきました。自由投稿論文は、各 3 名の匿名査読者による審査を経まして、本号には 6 編を掲載することができました。

これに加えて、本号では山川雄巳会長に基調論文「公共性の概念について」をご執筆い

いただきました。通常は、大会での会長講演が基調論文として掲載されることが多いようですが、1998年度の当学会学術大会では会長講演がありませんでしたので、会長にはご多忙中にもかかわらず、別途基調論文をご執筆いただきました。厚く御礼申し上げます。

また、本号では新しい企画として書評を試みました。松下圭一前会長のご著書をはじめ、5冊の書物を取り上げて読者の皆さんの便宜をはかりました。今回は会員のかたの著書を取り上げましたが、今後は対象を広く設定することもできると思います。

本号の編集にあたりまして、論文執筆者、年報編集委員、匿名の査読者のかたがたから多大のご助力をいただきました。本号はこれらのご助力の結晶です。特に、CD-ROM制作のために古瀬幸広委員の専門知識と判断が不可欠でした。また、その面では広瀬克哉委員からも随時助言をいただきました。心から感謝いたします。

当学会の年報は発足してまだ日が浅いですので、今後経験を踏まえて発展していくものと思います。2000年度年報につきましては、すでに森啓委員長のもとで新しい編集委員が作業を進めておられます。ご期待ください。

1999年度年報編集委員(50音順)

石田 徹(龍谷大学)

岡本 哲和(関西大学)

岸本 哲也(神戸大学)

柴田 愛子(関西学院大学)

中川 丈久(神戸大学)

広瀬 克哉(法政大学)

古瀬 幸広(立教大学)

村井 正(関西大学)

森脇 俊雅(関西学院大学)